



全難聴便り

発行:事務局 〒162-0066
東京都新宿区市谷台町 14-5 MSビル市ヶ谷台1F
編集:全難聴事務局
電話:03(3225)5600
FAX:03(3354)0046
URL:<http://www.zenancho.or.jp>
E-Mail:zennacho@zenancho.or.jp

全難聴 平成28年度第3回理事会が開催 2/11

雪に弱い東海道新幹線の降雪の影響が出て遅刻された方もいましたが、開始定刻時間の理事会開始となりました。今回の理事会では第1号から第5号議案の5つの議案を審議しました。あらかじめ送付の議案書を元に新谷理事長が議長をました。事業計画案の詳細については機関誌「難聴者の明日」にも掲載しますので、そちらをお読みください。

第1号議案 平成29年度事業計画案について

第2号議案 平成29年度予算案について

第3号議案 第23回全難聴福祉大会実施計画について

・分科会企画案

第4号議案 定款の改正について

第5号議案 公益目的支出計画案について

まず第1号議案審議冒頭に理事長より来年度事業遂行する為に、第2回理事会での検討を踏まえた対外的・対内的な課題に対する理解と取り組みが披露されました。

①対内的な課題としては障害者差別解消法への取り組み、国連障害者権利委員会での日本の障害者福祉の課題、分けても聴覚障害の認定基準すなわち障害認定の在り方を取り上げるように各方面に働きかける。

②障害者基本計画への取り組み

③耳マークを取り巻く課題

次に対内的課題として

①運動面からみた組織課題 手話言語条例と情報・コミュニケーションへの取り組みのあり方。医療と福祉に関わる領域、情報・コミュニケーションに関わる領域での取り組み。

②財務面からの組織課題として事務局の拡充・強化を図り、収益事業の開拓。

③個別事業の独立採算化を進めていく。

続いて継続事業(公益目的事業)1.2の事業計画、その他の事業(耳マーク、刊行物、高年青年女性の組織活性化)について審議をし、原案通り採決。

第2号議案は、事業計画案の予算的な裏づけとなるものであるから事業計画を補完する形で事務局より説明し採決。

第3号議案は各専門部からの提案に基づき第1～第5分科会を決定。

第4号議案は定款にブロック、専門部を位置づける改正案が定款第48条(補則)の改正とすることで理事会として決議。

第5号議案は公益目的支出計画に関して平成29年3月末完了となっている。延長申請の昨年度決議従い、申請前の段階での内閣府との折衝を進めてきた。しかし、延長申請事務等煩雑な業務が待ち受けていることから、期限で公益目的支出計画を完了すべきとの結論に達した。

その後報告事項等があり定刻どおり理事会は終了した。

👉 ヒアリングループのポスターをご活用ください。

Tモードにすれば、 聞きたい音だけが聴こえてくる!!



Tモードって何?

補聴器についている『T』のスイッチはテレコイルのことで、音ではなく磁気を電流に変えることで音を聞ける仕組みです。

●補聴支援システム「ヒアリングループ」の使用方法

- 1) 補聴支援システム「ヒアリングループ」が設置された講演会場に到着。
- 2) 講演が始まりましたら M スイッチから T スイッチ、もしくは MT スイッチに切り替えます。
- 3) 周りの雑音が聞こえなくなり、マイクの音声のみが聞こえます。
- 4) 講演の音が明瞭に聞こえますので、安心してご利用できます。
- 5) 講演が終わりましたら、補聴器は M スイッチに戻してください。
- 6) M スイッチで、いつもどおりの補聴器に戻ります。



一般社団法人
全日本難聴者・中途失聴者団体連合会推奨システム

(株)ソナール様より提供いただきました。ご活用ください。

📌 テクノエイド協会「シーズ・ニーズマッチング交流会 2016」東京

シーズ・ニーズマッチング交流会は2月3日にTOC有明コンベンションホールにて行われました。前号104号でも報告しましたので今号では来場者速報等紹介させていただきます。

	使う人	作る人	合計
大阪会場	162人	159人	321人
東京会場	244人	181人	425人
合計	406人	340人	746人

大阪会場よりも東京会場の方が来場者が多い。

東京会場では情報文化部より

小川部長、川井副部長、木村部員が担当いただきました。

情報保障

展示者・来訪者用に、手話通訳・ノートテーカーあり。都の派遣センターへ依頼。ほぼ全難聴の独占状態。



実施内容

- ・全難聴ブースでニーズの説明相談 小川印刷の資料 →約60部配付外見ではわからない障害であること、聞こえにくさを自覚している人1428万人というデータ(2015年)があること、耳マークは支援を受けたい、支援してくれる人を結びつけること、その他多様な聞こえの中途失聴・難聴者の困らない社会を目指していることなど、資料をプロジェクター投影しながらお話し、参加者からの質問相談などをお受けしていました。中にはワイヤレス補聴機器の製造に可能性を感じたという印象の方がいました。
- ・耳マークの展示PR パンプ100部配付と見本の展示 →パンプ約70部配付
- ・賛助会員の依頼 依頼書式10部ありブースに拘束され依頼行動ができませんでした。
- ・あき時間で各自他のブースを回って意見交換 川井さんはテレビの音声認識字幕実現の可能性について、各企業にあたっていました。特に(木村さんもそうですが)ソナールさんと話していた時間が長かったようです。
- ・難聴仲間2名、ほか数名。大阪よりも少なかった印象です。むしろ車いす、視覚障害など、他の障害者が関心を持って来てくれました。

<報告：小川理事>

📌 理事の動き (2/1~2/28)

- 2月 3日 テクノエイド協会「シーズ・ニーズマッチング交流会」東京 (小川)
2月 3日 NHK 番組への意見具申(宇田川)
2月 5日 全難聴関東ブロック研修講師(小川)
2月 6日 障害者放送協議会(新谷)
2月 8日 日本コクレア(株) 面談(新谷)
2月 8日 第4回119番通報の多様化に関する検討会(小川)
2月 9日 ヤマダ総合会計事務所担当者との公益目的支出計画に関する打合せ
(新谷・佐野)

2月 11日 理事会(理事16名、監事2名、欠席3名)
2月 13日 補聴器協議会 審査部会(佐野)
2月 14日 視聴覚障害4団体連絡会(新谷・佐野)
2月 14日 バリアフリー委員会(小川)
2月 15日 第2回要約筆記指導者養成研修運営委員会
2月 16日 NHK 番組意見交換会(新谷)
2月 17日 聴覚障害者制度改革推進中央本部 事務局会議(佐野)
// 拡大本部会議(新谷・佐野)
2月 18日 全難聴・全要研要約筆記WG会議(新谷・宿谷・宇田川)
2月 19日 全国統一要約筆記者認定試験
2月 20日 公益目的支出計画に関する打合せ(新谷・佐野)
2月 21日 旅客施設等における視覚・聴覚障害者に対応するICTを活用した情報提
供・案内に関する調査事業(小川)
2月 23日 第4回字幕ガイドライン標準化委員会(新谷)
2月 23日 JDF 幹事会(佐野)
2月 27日 補聴器協議会(佐野)

📌 事務局報告

- 2月 11日 全難聴第3回理事会
2月 14日 視聴覚障害4団体連絡会
2月 18日 全難聴・全要研要約筆記WG会議
2月 20日 公益目的支出計画に関する打合せ
2月 21日 旅客施設等における視覚・聴覚障害者に対応するICTを活用した情報提
供・案内に関する調査事業
2月 28日 全難聴便り No.105 発行

《3月予定》

- 3月 2日 共用品推進機構第12回理事会
3月 7日 JDF 権利条約推進委員会
3月 17日 CS障害者放送統一機構理事会
3月 22日 日身連評議員会
3月 29日 聴力障害者情報文化センター評議員会
3月 30日 JDF 幹事会
3月 31日 全難聴便り NO. 106 発行